

各位

2013年10月31日

ヤマハ株式会社

2014年3月期第2四半期（累計）連結業績の概要と

通期連結業績予想について

□ 第2四半期累計業績の概要 — 対前年同期増収、増益 —

2014年3月期第2四半期の連結累計売上高は、対前年同期で、為替による235億円の増収影響を受け、その他の事業を除く全てのセグメントで増収となり、208億円（11.8%）増加の1,977億円となりました。

営業利益については、対前年同期で、為替による67億円の増益影響を受け、69億円（100.7%）増加の137億円となりました。

営業利益の増加に伴い、経常利益は74億円（120.6%）増加の135億円、四半期純利益は92億円（273.4%）増加の125億円となりました。

□ 事業セグメント別の売上高・営業損益の状況

・ 楽器事業 売上高 1,269億円（前年同期比 10.4%増） 営業利益 96億円（前年同期比 102.2%増）

ピアノは、国内での販売が前年を下回りましたが、北米で好調に推移したことに加え、為替影響もあり、増収となりました。電子楽器は、デジタルピアノが売上げを伸ばしましたが、ポータブルキーボードの欧州および新興国での販売が振るいませんでした。管弦打楽器は、管楽器が北米で、ギターが国内および北米、中国で好調に推移しました。音楽教室による収入は、微減となりました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に比べ、為替による154億円の増収影響を受け、119億円（10.4%）増加の1,269億円となりました。

営業利益は、為替による46億円の増益影響を受け、48億円（102.2%）増加の96億円となりました。

・ 音響機器事業 売上高 487億円（前年同期比 17.3%増） 営業利益 26億円（前年同期比 14.7%増）

オーディオ機器は、欧州および新興国で売上げを伸ばし、北米でも堅調に推移しました。PA機器は、設備音響機器市場で売上伸び悩みが継続しています。ネットワーク機器は、ルーターおよび会議システムが国内で売上げを伸ばしたほか、業務用通信カラオケ機器の受注が好調に推移しています。

セグメント全体の売上高は、前年同期に比べ、為替による75億円の増収影響があり、72億円（17.3%）増加の487億円となりました。

営業利益は、為替による17億円の増益影響を受け、3億円（14.7%）増加の26億円となりました。

・ 電子部品事業 売上高 101億円（前年同期比 28.5%増） 営業利益 12億円（前年同期 9億円の営業損失）

半導体は、スマートフォンの需要拡大に伴い、地磁気センサー（電子コンパス）およびコーデックが売上げを伸ばし、増収となりました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に比べ、22億円（28.5%）増加の101億円となりました。

営業利益は、増収に加えて固定費削減の効果もあり、12億円（前年同期は9億円の営業損失）となりました。

・ **その他の事業 売上高 119 億円（前年同期比 4.2%減） 営業利益 3 億円（前年同期比 58.5%減）**

自動車用内装部品は、前年第 1 四半期に納入先のモデルチェンジによる需要があったことから、減収となりました。FA 機器は、国内での受注が減速し、減収となりました。ゴルフ用品は、韓国を中心とする海外で売上げを伸ばしたものの、国内で苦戦し、減収となりました。国内のリゾート事業は、ほぼ前年並みの売上げとなりました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に比べ、5 億円（4.2%）減少の 119 億円となりました。

営業利益は、4 億円（58.5%）減少の 3 億円となりました。

□ **2014 年 3 月期通期連結業績予想について** — 営業利益・経常利益・当期純利益を上方修正 —

2014 年 3 月期通期連結業績予想は、7 月 31 日公表時に売上高 4,080 億円（前期比 11.2%増）、営業利益 200 億円（前期比 117.0%増）、経常利益 185 億円（前期比 115.6%増）、当期純利益 165 億円（前期比 300.3%増）としておりました。

今回の業績予想では、売上高を据え置きといたします。

一方利益面では、インドネシアのギター製造子会社でのストライキの影響として 10 億円の減益を織り込むものの、想定為替レートの見直しに伴う増益等により、営業利益 220 億円（前期比 138.7%増）、経常利益 205 億円（前期比 138.9%増）、当期純利益 180 億円（前期比 336.6%増）に上方修正いたします。

尚、当期純利益には、国内楽器小売販売子会社における 7.5 億円の事業構造改革費用を、特別損失として織り込んでいます。

注) 今回の業績予想における想定為替レートは、従来の対 US ドル 95 円、対ユーロ 125 円から、対ユーロのみ 130 円に見直しております。

注) 文章中の売上高、損益の数値は、億円未満四捨五入で記載しており、（ ）内は原則前年同期比増減率です。

尚、第 1 四半期連結会計期間より、従来の「AV・IT」事業を「音響機器」事業に名称変更いたしました。

また、セグメント区分を見直し、「楽器」事業に含まれていた PA 機器を「音響機器」事業に変更しております。

前年同期比の金額、増減率については、変更後の区分方法により計算いたしました。

以上

2014年3月期第2四半期業績資料

ヤマハ株式会社
2013年10月31日

	当第2四半期予想 (13/4~13/9) (13/07/31発表) 14年3月期	当第2四半期実績 (13/4~13/9) 14年3月期	前年第2四半期実績 (12/4~12/9) 13年3月期	前回当期予想 (13/07/31発表) 14年3月期	当期予想 14年3月期	前期実績 13年3月期
売上高	1,965億円	1,977億円	1,768億円	4,080億円	4,080億円	3,669億円
国内売上高	813億円 (41.4%)	823億円 (41.6%)	844億円 (47.8%)	1,658億円 (40.6%)	1,662億円 (40.7%)	1,658億円 (45.2%)
海外売上高	1,152億円 (58.6%)	1,154億円 (58.4%)	924億円 (52.2%)	2,422億円 (59.4%)	2,418億円 (59.3%)	2,012億円 (54.8%)
営業利益	115億円 (5.9%)	137億円 (6.9%)	68億円 (3.9%)	200億円 (4.9%)	220億円 (5.4%)	92億円 (2.5%)
経常利益	110億円 (5.6%)	135億円 (6.8%)	61億円 (3.5%)	185億円 (4.5%)	205億円 (5.0%)	86億円 (2.3%)
当期利益	100億円 (5.1%)	125億円 (6.3%)	33億円 (1.9%)	165億円 (4.0%)	180億円 (4.4%)	41億円 (1.1%)
為替レート(決済レート)	96円/US\$ 123円/EUR	98円/US\$ 125円/EUR	80円/US\$ 105円/EUR	96円/US\$ 124円/EUR	97円/US\$ ^(**) 127円/EUR	82円/US\$ 103円/EUR
ROE ^(*)	8.6%	10.6%	3.4%	7.0%	7.5%	1.9%
ROA ^(**)	5.0%	6.1%	1.9%	4.2%	4.5%	1.1%
1株当たり利益	51.6円	64.6円	17.3円	85.2円	93.0円	21.3円
設備投資 (減価償却費)	76億円 (62億円)	49億円 (60億円)	58億円 (54億円)	148億円 (137億円)	120億円 (131億円)	138億円 (116億円)
研究開発費	118億円	107億円	110億円	240億円	230億円	221億円
(キャッシュフロー)						
営業活動	37億円	43億円	▲46億円	263億円	265億円	78億円
投資活動	▲47億円	▲25億円	▲58億円	▲118億円	▲73億円	▲126億円
フリーキャッシュフロー	▲10億円	18億円	▲105億円	145億円	192億円	▲49億円
期末在庫高	892億円	905億円	837億円	794億円	803億円	820億円
(要員数)						
国内	7,100人	6,991人	7,538人	7,000人	6,900人	7,143人
海外	13,100人	12,901人	12,551人	13,200人	13,200人	12,545人
正社員計 ^(**) (連結範囲変動による増減)	20,200人 (50人)	19,892人 (46人)	20,089人 (169人)	20,200人 (55人)	20,100人 (50人)	19,688人 (173人)
正社員外要員(期中平均)	8,900人	8,604人	8,598人	8,200人	8,200人	8,198人
(事業別売上高)						
楽器 ^(**)	1,265億円 (64.4%)	1,269億円 (64.2%)	1,150億円 (65.0%)	2,580億円 (63.2%)	2,585億円 (63.4%)	2,355億円 (64.2%)
音響機器 ^(**)	485億円 (24.7%)	487億円 (24.7%)	415億円 (23.5%)	1,060億円 (26.0%)	1,050億円 (25.7%)	926億円 (25.2%)
電子部品	95億円 (4.8%)	101億円 (5.1%)	79億円 (4.5%)	190億円 (4.7%)	200億円 (4.9%)	150億円 (4.1%)
その他	120億円 (6.1%)	119億円 (6.0%)	124億円 (7.0%)	250億円 (6.1%)	245億円 (6.0%)	238億円 (6.5%)
(事業別営業利益)						
楽器 ^(**)	75億円	96億円	47億円	140億円	160億円	64億円
音響機器 ^(**)	30億円	26億円	23億円	55億円	50億円	46億円
電子部品	5億円	12億円	▲9億円	0億円	5億円	▲20億円
その他	5億円	3億円	7億円	5億円	5億円	3億円

(単独の状況)

売上高	1,197億円	1,247億円	2,314億円
営業利益	70億円 (5.8%)	19億円 (1.5%)	▲42億円 -
経常利益	127億円 (10.6%)	57億円 (4.5%)	62億円 (2.7%)
当期利益	140億円 (11.7%)	48億円 (3.9%)	58億円 (2.5%)

* 1, 2 ROE・ROAは年換算値

* 3 要員数=期末社員在籍数

* 4 2014年3月期第1四半期より、AV・IT事業の名称を音響機器事業へ変更し、PA機器を楽器事業から音響機器事業に移動しています。これに伴い2013年3月期の数値も新セグメントに紐替えて表示しています。

* 5 下期為替レート US\$=95円、EUR=130円

連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。